

瀬戸会場 市民パビリオンからのご案内



2005年7月26日

市民パビリオン2F対話ギャラリーでは、地球の授業
「日本の原風景・奄美～唄の力 生きる力～」が開催されます。

奄美でクリーニング店を営む主婦写真家・西田テル子さん



西田テル子（にしだ・てるこ）

奄美でクリーニング屋を営む
主婦写真家。
奄美郷土研究会会員。
日本リアリズム写真集団会員

普段では目にすることのできないノロやユタの神空間に迫る！

●7月26日（火曜日）

①11：30～、②13：00～、③15：20～

「奄美の彩り — カミ（神）と共生する豊かさ・暮らしの中の祈り」
“自然に外されぬように生きなくてはならない”という奄美の先人の教えに従って、
時を重ねてきた島人たちの“感謝の念”や“祈り”のある暮らしぶりをご紹介します。

●7月27日（水曜日）

①11：30～、②13：00～、③15：20～

「うなり神の島・奄美 ～仲勝集落のノロ祭祀を例に～」
“琉球王朝時代なごりのノロ祭祀が現在でも奄美の一部の集落で執り行われており
ます。名瀬市仲勝（なかがち）集落のノロ祭祀を例にとり、ノロとユタの違いや
授かったきっかけ、集落での役割、組織、そして変容の様子などを紹介したいと思
います。

※うなり神＝女性を現人神とする原始信仰。

※ノロ＝祝女。祝詞をあげる神女（シャーマン）。ノロは奄美のシマの神祭祀をする神女の集
団とノロ個人を示すことばである。シマの人々の精神的中心